

※「医療機器・材料のトレーサビリティデータ収集・分析システムの構築を通じた
医療機器開発・改良支援、医療資源最適化、病院経営最適化支援」

= 開催概要 =

日時：2026.3.27(金)午後1時(開始予定)

申込/詳細ページ(要事前登録)
<https://bit.ly/3ZeyeF3>

会場：国立健康危機管理研究機構
国立国際医療センター(本部キャンパス 西)
研修センター棟 5階 大会議室

参加費
無料



開催形式：現地会場参加 100名
Web参加 450名 (ZOOMウェビナー)

主催：SIP3期「統合型ヘルスケアシステム構築」B-5チーム
共催：医療材料統合流通研究会

= プログラム =

(内容は変更になる場合があります)

キーノート:動き始めた医療機器製品データベース

大橋 太 一般社団法人 医療材料統合流通研究会 副会長
シップヘルスケアホールディングス株式会社 代表取締役社長

医療機器製品データベースの期待と今後の課題

第1部 バーコード・RFID利活用最新動向

渡邊 研人 JCHO東京山手メディカルセンター
臨床工学部 副臨床工学技士長

GS1活用による医療機器・材料の運用DX

西田 睦 北海道大学病院 経営戦略部 准教授/病院長補佐

医療材料請求の効率化と安全性向上に向けた標準コード活用

渡邊 勝 宮城県立こども病院 診療情報室

医療機関におけるGS1コード活用の実践事例からみた
医療機器データベース整備への期待

第2部 パネルディスカッション:医療機器製品データベースの活用に向けて

座長：美代賢吾 国立健康危機管理研究機構 システム基盤整備局 医療情報管理部 部長

= パネリスト =

植村 康一 GS1 Japan ソリューション第2部 部長

海外でのGS1活用と医療機器製品データベースの状況

西 亮太 国立健康危機管理研究機構
システム基盤整備局 医療情報管理部 上級研究員

SIP3期「統合型ヘルスケアシステムの構築」における
医療材料のトレーサビリティ確保に向けた取り組み

河合 誠雄 在日米商工会議所 (ACC) ヘルスケア委員会 委員長

医療機器DBを起点とする医療DXに対する期待

吉川 佐江 一般社団法人 日本医療機器産業連合会 UDI委員会 委員長
テルモ株式会社 SCM推進室 企画管理グループ 部長代理

医療材料のバーコードとRFIDを用いた
医療安全のための最新動向と産業界における
医療機器製品データベースへの取り組み

太田 美紀 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
安全性情報・企画管理部 部長

行政における医療機器製品データベース構築に向けた
取り組み

総合討論 —医療の新たな変革に向けて—

クロージング

美代 賢吾 SIP B-5 研究開発責任者
国立健康危機管理研究機構 システム基盤整備局 医療情報管理部 部長
一般社団法人 医療材料統合流通研究会 会長

■連絡先■

SIP3期「統合型ヘルスケアシステム構築」B-5チームシンポジウム支援担当
株式会社コンパス内 sip-support@compass-tokyo.jp
TEL03-5840-6131 FAX03-5840-6130 (平日10~17時)